

# 傍聴席

## 3月議会で感じたこと

西古泉 山口 久夫

議会の傍聴は久しぶりで、昨年8月の町議会議員選挙後では初めてでした。今回傍聴した理由は、新人議員が4人誕生。合併協議不調後の初会議。白石町長2期目の当初予算議会。女性議員の登壇。質問者が6人で多いことなどでした。

議場は大変明るく、落ち着いた和やかな雰囲気を感じました。松前町の将来もこのようにあってほしいと念願いたしました。

議員の質問事項が、傍聴券と一緒に渡されるので、事前

種々の比較の中で、「女らしい」の項に男女共に「はつきり主張する」が女らしいと答えたのが多数でした。やがて日本の家庭における男女の地位はより平等なものへと変化することが推測されると解説していました。

かつての日本社会では女性は主張しないで、言われるままに従順であることが求められていました。今「男女共同参画社会」を目標として、女性の地位向上が叫ばれ、「主張する女性」「自立する女性」が社会の理念です。

内容を理解できること、理事者答弁も記録することができ、心配りを感じました。

新人議員が4人当選したことで質問者が増え、議会の活性化に貢献していることを実感したところです。

質問時間は最短で15分、最長で60分と大きなバラツキがありました。内容としては、財政状況と子供の安全・教育問題が大半を占め、世論を反映したものを受け止めました。しかし、福祉と環境問題をとり上げたのは各1人で、質問に片寄りを感じたところ

戦後女性は強くなったと言われても、私はちっとも強くなかなくて来たように思いますが、今頃やっと夫婦でぶつかり、諦めたりお互いに試行錯誤の毎日です。

社会的には国家レベルで女性の地位向上のための制度づくりが急がれ充実しつつあります。男女雇用機会均等法、子育て支援、ドメスティックバイオレンス防止法等々、女性が我慢して当たり前だったことが今は制度で守られる時代です。しかし、まだまだ意識のズレや、幾世代も続いたです。

女性議員からは、子供の安全・教育と福祉の問題が取り上げられ、弱者に対する女性らしい配慮が伺えました。

理事者の答弁は、終始、真摯な対応の中にも、厳しい財政状況の中で新しいまちづくりのためには、住民の理解と協力によって、行政と一体となって町政改革を進めたいという切実な姿勢を伺い知ることが出来ました。

今後、松前町が発展していくためには、住民が自助努力するとともに、年間4回開催

される議会で、一度も質問に立たないような議員がないよう、もっと議会に関心をもつ必要があると思います。



# 町民の声

## 「自分らしく輝いて暮らせる男女共同参画のまちづくり」

北黒田 小西 伸子

松前町の男女共同参画計画の表現です。

先日、中国広東雑技団の公演の写真を見ました。男女の特質を生かした華麗な名場面の数々でした。あれ程の演技の影にはお互いが信頼し練習を積み重ねた結果だろうと感銘を受けました。人生も舞台のようなものだと思いた事がありますが、私は大根役者だったなあ。

財団法人日本青少年研究所が「高校生生活と意識に関する調査 日本・米国・中国・韓国の4か国の比較」の

戦後女性は強くなったと言われても、私はちっとも強くなかなくて来たように思いますが、今頃やっと夫婦でぶつかり、諦めたりお互いに試行錯誤の毎日です。

社会的には国家レベルで女性の地位向上のための制度づくりが急がれ充実しつつあります。男女雇用機会均等法、子育て支援、ドメスティックバイオレンス防止法等々、女性が我慢して当たり前だったことが今は制度で守られる時代です。しかし、まだまだ意識のズレや、幾世代も続いたです。

戦後女性は強くなったと言われても、私はちっとも強くなかなくて来たように思いますが、今頃やっと夫婦でぶつかり、諦めたりお互いに試行錯誤の毎日です。

社会的には国家レベルで女性の地位向上のための制度づくりが急がれ充実しつつあります。男女雇用機会均等法、子育て支援、ドメスティックバイオレンス防止法等々、女性が我慢して当たり前だったことが今は制度で守られる時代です。しかし、まだまだ意識のズレや、幾世代も続いたです。

習慣で、変革までも行かない課題は山積みです。

「人間としての美しさは、生命の中にある『清らかな心』『品格』『教養』で輝く」の言葉があります。

今を生きる私達が、男性と女性共々に支え合いながら、真の男女共同参画の町を築いて、次世代へバトンタッチしたいものです。